

第8回 白川静漢字教育賞 一般の部 最優秀賞

子どもの主体を起こす読み優先の漢字教育

子どもの主体を起こす読み優先の漢字教育研究会共同代表

上野 芳樹 氏

<概要>

全くひがなを理解できなかった長男に漢字の読みから入る指導を行うことで教育漢字すべてを習得させることができたという臨床心理士井上知子氏の子育て体験が本文掲載研究の出発点である。学じにくさのある子どもたちを含め、全ての子どもたちが学びやすい漢字学習法「読み・意味理解」の確立の上に「書き」の指導を行うこと、また、漢字を実生活で生かせるようになるために、単漢字ではなく一定の長さの文章単位で「学ばせること」が重要なところと考え、独自の教材を開発し、学校規範での実証研究を進めた。

「漢字音読名人」は、子どもたちが夢中になって聞きうる語がどの教室でも見られ、その対等な聞き合いを重ねる中で子ども同士の関係が開かれているといい方頃を多くの担任から得た。

白川博士の学説による漢字の乗り立ちや音訓文例・筆順をコンパクトにまとめた「一日一漢字」も、子どもたちの漢字に対する興味・関心を高め、楽しく漢字を学ぶ教材となり、子どもへの人気度が高まっている。

更に、読み・意味理解の学習を行なうながら実践的な書き練習を進める教材として「漢字書き名人」を開発し、これら一連の教材をトータルに使用して指導した学校は、異質な漢字学習の成果を挙げている。

6年間による実証研究を通して、日々が発展した教材による読み優先の漢字学習は誰もが学びやすいユーバーサルデザイン教育の典型であり、また、子どもの主体を起こし仲間との協働を重視する「教育」そのものであることを確信するに至っている。

<講評>

今回特別賞を受賞された井上知子氏の「読み優先」の漢字指導体験を核に、どの子にも漢字を理解させるために、段階を追って漢字を学ばせた「漢字音読名人」や「漢字書き名人」など様々な工夫をしきながら、学校全体、地域の小学校を巻き込みながら何年もかけて継続的に広げられた。そのスケールの大きな実践の厚みが高い評価を得た。

子どもの主体が起き、どの子も無理なく習得できる読み優先の漢字学習



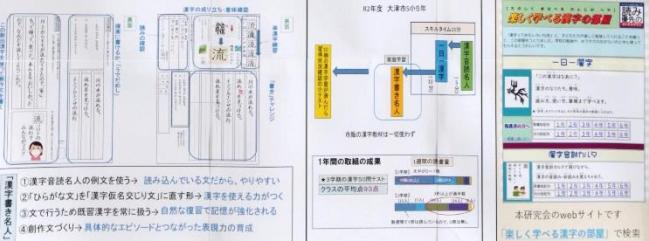
①「漢字音読名人」で楽しく漢字を読もう



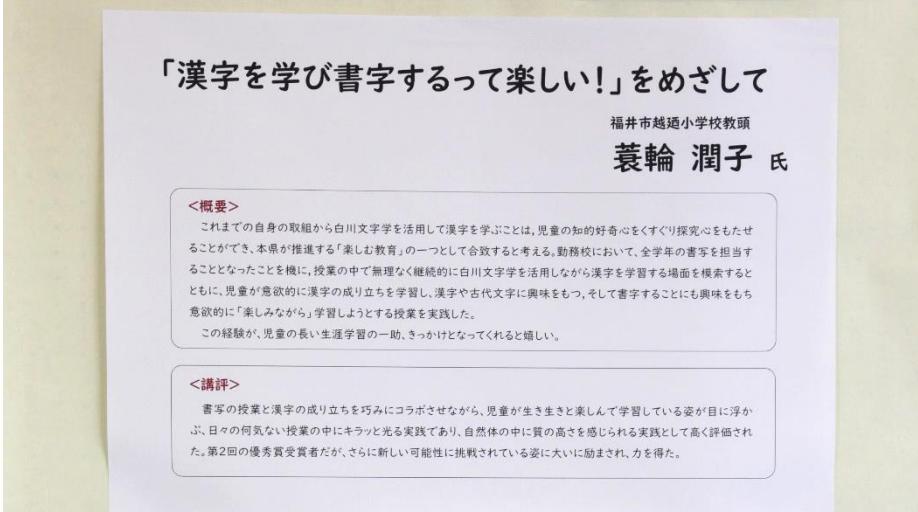
②「一日一漢字」で漢字を楽しく学ぼう



③「漢字書き名人」で楽しく書き練習をしよう



第8回 白川静漢字教育賞 一般の部 優秀賞



第8回 白川静漢字教育賞 一般の部 優秀賞



